

講 座	日本・アジア言語文化論
専門科目 1	中国文学

問題 1

以下の文章は、魯迅の『中国小説の歴史的変遷』冒頭部である。下線を付した部分について、中国の小説の歴史のなかから具体例を挙げつつ説明しなさい。

(出典：『中国小説史略』下 今村与志雄訳 ちくま学芸文庫 1997年 211頁)

問題 2

いわゆる第五世代監督によって制作された映画が中国映画と世界のひとびとに与えた影響について述べなさい。

問題3

次の文章について、下の(1)～(2)の各問に答えなさい。

(出典：『活着』余華 作家出版社 2012年第三版 184頁)

- (1) _____の部分日本語に訳しなさい。
- (2) _____の部分について、『活着』日本語版では以下のように訳されている。

(出典『活着』飯塚 容訳 角川書店 2002年 249頁)

中国語の原文と日本語版を比較すれば分かるように、中国語の“令人感動的嗓音”は「感動的な歌声」と訳されている。対照言語学の観点から“令人感動的嗓音”と「感動的な歌声」の相違を説明し、このような違いを引き起こす原因を簡潔に分析しなさい。

問題4

小説『活着』は、1940年代の国共内戦及び三反五反運動、1950年代の大躍進、また1960年代の文化大革命という三つの時代を大きな背景に、中国の農村及び極端な生活環境の中で生きる農民の生き様を描く作品である。このような中国の農村及び農民の生活を主題とした作品を、あなたは他に知っていますか？あなたの知っている作品で描かれている中国農民・農村の「死生観」について、簡潔に説明せよ。

以上